



企業にとって最適なアジャイル・ソフトウェアの選択

主な4つの考慮点

概要

「ソフトウェアは世界を食べつくしている」という言葉はかつては挑発的な表現でしたが、ソフトウェアが経済の支配的な位置にあるとするこの考えは、今では広く受け入れられています。しかし、競合他社の先を行くことを目指す現在の企業にとっては、単にソフトウェアが果たしている重要な役割を認識するだけでは十分ではありません。こうした企業はもっと確信を持って迅速に前進する必要があります。アジリティは不可欠で、変化にすばやく対応し、すぐに価値を実現でき、高品質な製品をロールアウトできる企業は成功し、それができない企業は生き残れません。

本書では以下のように、IT 意思決定者を支援するガイドを提供します。

- あらゆるタイプの企業に現在影響を及ぼしているいくつかのトレンドについて解説します。
- 購入決定に役立つ考慮事項の組み合わせを示します。
- アジャイル開発手法から得られる良好な成果について考えます。

はじめに

業種を問わず、ビジネスの状況を変えつつあるいくつかの共通するトレンドがあります。その 1 つ 1 つが企業の製品開発や市場投入、競合他社との競争などの方法に深い影響を与えてきました。

デジタル・ディスラプション

この数十年、市場の上位を占める企業が競合他社から脅かされることは比較的まれでした。革新的な製品やサービスは常に脅威ではありましたが、こうした製品やサービスが市場投入までに必要とするリード・タイムが長かったため、既存の大手企業が効果的な対応を展開できる可能性は十分にありました。

しかしこれはもはや当てはまりません。現在はデジタル・ディスラプションが広がり、変化の速度も速くなっています。たとえば、パソコンの市場普及率が 10% に達し、メインフレームやミニコンピュータに置き換わり始めるまでには 8 年かかりました。これを、タブレットがパソコンを脅かし始めるまでの時間と比較してみると、わずか 18 ヶ月です。現在のような速いペースでは、一夜にして企業がディスラプションに追い込まれる可能性があります。

進化する市場

デジタル・ディスラプションは、競争や規制の変化とともに、グローバル市場に深い影響を及ぼしています。これらの要因を考えると、現在の市場の変化や進化を察知し、確実に対応することは企業にとって非常に重要です。イノベーションはメリットをもたらします。一方でレガシー・システムや、データと顧客ニーズの処理に関する従来の手法を使用しているだけでは、企業は競合他社にさらに後れをとってしまいます。

顧客の変化

顧客も変化を続けています。現在の購入者は豊富な情報を持ち、テクノロジーに精通しており、品質の不足に気づけばソリューションを放棄することも躊躇しません。利便性や機能に関してとどまるところを知らない期待を満足させられなければ、企業はすべてを失ってしまいます。他より抜きでるために、企業は即座に役立ち実際の価値を購入者に提供できる製品やサービスを投入する必要があります。また、ビジネス・チャンスの期間はますます短くなっているため、企業は高品質の製品をこれまで以上に迅速に開発しロールアウトしなければなりません。

アジャイルによる前進

こうした変化に対応していくには、企業はもっとアジャイルな、スピードと正確性のバランスの取れたスタンスを採用する必要があります。適切なソリューションには以下の特徴が必要です。

- 迅速化
- 戦略をデリバリーに結び付ける
- 調整された予測可能なデリバリー・エンジンを構築する

本書では 3 部構成で、アジャイル・ソフトウェア開発ソリューションを選択する際に考慮すべきいくつかの重要な要素について考えます。

考慮点 1:

ビジネスの可視性の拡大



課題

現在のアプリケーション・エコノミーにおいては、スピードがきわめて重要です。大半の企業はこうした圧力を十分認識していますが、その多くはいまだによくある罠に陥っており、ビジネス戦略に結び付けることなくスピードを優先しています。

スピードをビジネス戦略に結び付けるという重要な視点がなければ、最も意思決定者はキャパシティを目につくこと、つまりより多くの作業を達成しているという印象を与えたり、より迅速に推移しているという印象を与えたりする業務を他より優先するだけになってしまいます。しかし「最も目につくこと」が企業のもっと広範な目標を反映しているとは限らず、その結果、作業が遅れることがあります。さまざまなチームの作業内容に対するリアルタイムの洞察がなければ、意思決定者は本当の整合性を促進できず、企業が適切な製品を市場に投入できる能力は低下します。

必要な機能

こうした課題を克服するために、企業は以下のことを必要とします。

リアルタイムの情報

意思決定者は開発の進捗に関する最新のデータにアクセスする必要があります。リリース追跡、ポートフォリオ・タイムライン、リリース・メトリクス、その他の重要な情報は、コラボレーションのすべての関係者に共有される必要があります。

ビジネスの優先事項への洞察

深い洞察に導かれ、チームはビジネスの優先事項に整合する製品やサービスの側面に焦点を向け、取り組むことができます。

予測可能なリリース

迅速なフィードバックによって、企業はビジネス・レベルと開発レベルの両方で、より迅速に調整を行えます。定期的なリリースのリズムによって、より迅速なサイクルで開発を実行することが容易になります。

結果

こうした機能を活用できれば、企業は以下のような成果を期待できます。

- 継続的な製品とサービスの品質向上と、顧客満足度の向上
- チームがビジネスの優先事項に適合するイニシアチブに取り組んでいるという自信
- 迅速に範囲を調整する能力と、ビジネス・バリューに直接影響する資金調達の手段

考慮点 2:

キャパシティ・プランニングの改善



課題

多様な市場での豊富なビジネス・チャンスと、差し迫る競合他社を前に、現在の企業はさらに多くの製品やサービスを生産する方法を継続的に模索しています。

ここには重要なバランスがあります。しかしそれは達成するのが難しいバランスです。あまりにも多くの作業を抱えると、最終的にはスピードのために品質を犠牲にすることになりかねません。一方で作業が少なすぎれば、最適化とビジネス・バリューの提供をもっとうまく実行する方法を見つけた競合他社に、市場の位置を奪われてしまいます。

必要な機能

こうした課題を克服するために、企業は以下のことを必要とします。

ダッシュボード

ここではリアルタイムの情報が非常に重要です。意思決定者がキャパシティを真に把握するには、刻々のデータの提示方法を都合に応じて変更できる必要があります。

リーダー間のコラボレーション

企業はリーダー間のコラボレーションを促進し、チームとイニシアチブのために変化するアーティファクトや実行データを必要としないシナリオを構築できることが必要です。

共通プラットフォーム

開発チームがより迅速に作業することを求められる中、ビジネス・リーダーはチームを共通の目標に集中させ続けるための方法を必要とします。共通プラットフォームを導入することで、バーンダウン、速度、スループットなど重要なメトリクスをすべてのチームに適用して効果的な測定を行え、キャパシティ・プランニングの正確性と製品の予測可能性およびデリバリを向上させることができます。

結果

こうした機能を活用できれば、企業は以下のような成果を期待できます。

- 最も目につくことなく、現実的な経験に基づく評価によるキャパシティ・プランニング
- 最も価値の高い機能のデリバリに関する予測可能性と信頼性が向上
- 開発ライフサイクル全体で効率性が向上

考慮点 3:

チームの生産性の強化



課題

開発の世界では、すべての作業が公平に構築されるわけではありません。開発チームが生産する仕事量を増やす場合、その作業が特定の品質基準を満たし、ビジネス・ニーズに適合することが重要です。

しかし IT の複雑性、市場の要求、その他の圧力により、多くの開発組織はスピードと品質のバランスを取ることに苦労しています。多大なストレスのもとで作業する開発組織は、納期やマイルストーンを達成できず、顧客価値の達成に役立つ革新的な機能に取り組むよりも、障害を取り除くことに重点を置くようになってしまいがちです。

必要な機能

こうした課題を克服するために、企業は以下のことを必要とします。

調整力の向上

複数のチームとプログラムにまたがりアジャイル開発作業を計画し調整する能力は重要です。適切なアジャイル・プラットフォームとは、拡張可能で、多数のユーザとアーティファクトを処理できるものでなければなりません。

効率的で効果の高いツール

直観的で使いやすいツールも生産性を向上させます。スレッド化されたチャットやチームの集約型受信ボックス、パーソナライズされたナビゲーションなどの機能があれば、各チームのメンバーがそれぞれの作業に適した情報にアクセスしたり共有したりできます。

チームレベルのコラボレーションの改善

これらのツールを導入した当然の結果として、チームレベルでコラボレーションが改善されます。企業はツールやチーム、タイム・ゾーン間の境界をなくし、すべてのスタッフが優れた能力を発揮するために役立つリアルタイムの情報を提供するようなアジャイル・プラットフォームを見つける必要があります。

結果

こうした機能を活用できれば、企業は以下のような成果を期待できます。

- すべてのチームでストレス・レベルが減り、スタッフの生産性が向上
- ビジネス目標にプラスの影響を与えるように可視化が改善
- チームが最も重要な機能を顧客提供可能
- ビジネス成果を向上させるコラボレーティブな取り組みが増加

考慮点 4:

顧客ニーズへの対応



課題

デジタル革命が活性化するすべての変化の中で、最も重大なのは顧客の期待の高まりです。直観的なインタフェースとスムーズな機能は今や当然備えておくべきもので、現在のコンシューマは仕事と遊びに役立つ製品やサービスを求めており、これが本当の価値になっているのです。

アプリケーション・エコノミーで競争する企業にとって、これは多くの課題をもたらします。迅速化は常に苦慮する点です。そして一度市場に出れば、アプリケーションや製品が適切に動作しなかったり、あるいは購入者に価値を提供しなかったりすれば、顧客は他社製品に乗り換えてしまいます。

必要な機能

こうした課題を克服するために、企業は以下のことを必要とします。

専用プラットフォーム

効果を最大限に引き出すために、企業はアジャイル・チームのニーズに合わせて設計され、多数のチームにまたがりアジャイル開発を拡大できるよう構築されたプラットフォームを探する必要があります。こうしたチームは、ビジネスの意思決定者とともに、継続中の作業と、会社のニーズと戦略目標への適合状況に関する知見を提供する共有プラットフォームで作業する必要があります。

予測可能なソフトウェア・デリバリ・エンジン

適切なデリバリ・エンジンとは、調整された予測可能なものであることが必要です。企業はチームのキャパシティ、速度、生産性、その他のメトリクスへのリアルタイムの可視性を確保し、定期的なリリース・リズムを確立する必要があります。

ボトルネックへの洞察

高価値の製品やサービスを市場に投入するには障害や欠陥、依存性を、それらがソフトウェアに悪影響を及ぼさないうちに明らかにできることが必要です。適切なアジャイル開発ソリューションとは、こうした問題を迅速に特定できるだけでなく、適切な層までドリルダウンできるものでなければなりません。それによって意思決定者は作業を時間どおり首尾よく完了するよう取り組みを主導できます。

結果

こうした機能を活用できれば、企業は以下のような成果を期待できます。

- 開発ライフサイクル全体をサポートする機能
- 変化する市場の状況に対応するための反応時間の短縮
- 迅速化
- 顧客により多くの価値をもたらす反復的な開発プロセス

A background image showing three business professionals in a meeting. A woman with short dark hair and glasses is looking down and smiling. A woman with dark hair is looking up at her. A man with glasses is looking towards the woman with short hair. They are all dressed in business attire.

まとめ

アジャイル開発はかつて最先端の手法と考えられていましたが、現在では広範な業種の企業にとって必要不可欠なものになりました。

アプリケーション・エコノミーで競争力を維持するには、企業は業務とビジネスの優先事項との整合性を改善し、企業全体でチームの生産性を向上させると同時に、収益を向上させ顧客を満足させる製品やサービスをロールアウトする必要があります。

適切なパートナーがいて適切なプラットフォームがあれば企業は可視性、予測可能性、効率性を向上させることができ、変化する市場のニーズをより迅速に察知し対応できます。

購入ワークシート



下記の質問を使用すると、候補となるアジャイル・パートナーとそのソリューションを比較する表を作成できます。

推奨される質問	ベンダー 1:	ベンダー 2:	ベンダー 3:
ベンダーは実装段階で直接会ってコンサルティングを行いますか？			
ベンダーはアジャイル開発について初期指導を行いますか？			
ベンダーは御社がアジャイルを拡張できるようアジャイル・トランスフォーメーションのコンサルタントを割り当てますか？			
ベンダーは実装後、継続的なトレーニングを提供しますか？			
ソリューションは多くのチームやプログラムに対応していますか？			
ソリューションはスクラム、カンバン、SAFe、その他のアジャイル開発の手法や枠組をサポートしていますか？			
ソリューションによってチームはさまざまなイニシアチブの背後にあるビジネス論理を理解できますか？			
ソリューションは意思決定者に複数チームのリアルタイム・ステータスと作業範囲を表示する手段を提供しますか？			
ソリューションはシナリオと「what-if」によるプランニング機能を提供しますか？			
ソリューションはユーザ・ストーリーを高レベルのポートフォリオ・イニシアチブに容易にロールアップする手段を提供しますか？			
ソリューションは導入後すぐに使用できるパフォーマンス・メトリクス、ダッシュボード、レポート機能を提供しますか？			
これらのメトリクスはポートフォリオ全体の統合ビューで提示されますか？			
ソリューションはエンドツーエンドのプランニング機能と管理機能を提供しますか？			
ソリューションにはアイディエーション、ロードマップ開発、追跡、その他、開発ライフサイクルをサポートする機能が含まれますか？			

CA Agile Central を使用すると、チームの継続的な改善に役立つプロジェクトと性能のメトリクスにリアルタイムのエンタープライズ規模の可視性を確保できるため、企業は変革し迅速に価値を実現できます。



調査対象の企業の**約半数**で、採用以来タイムツーマーケットを **45%** 以上短縮できました。

調査対象の企業の **100%** で、CA Agile Central の 採用以後、タイムツーマーケットが **15%** 以上短縮しました。

調査対象の企業の**約三分の一**で、ソフトウェア品質が **60%** 以上改善しました。

CA Agile Central について

CA Agile Central はアジャイル開発プラクティスの拡大を可能にします。同期されたリズムでチームが連携して作業の計画、優先順位判定、追跡を行うためのハブをチームに提供します。開発作業を企業の最も重要なビジネス・イニシアチブに関連付けます。リアルタイムの性能メトリクスで生産性、予測可能性、品質、応答性を測定します。CA Agile Central を使用すれば、組織を変革し、変革を持続させるツールが手に入ります。ぜひ **CA Agile Central** をお試しください。

詳細については www.ca.com/jp/products/ca-agile-central をご覧ください。

CA Technologies (NASDAQ:CA) は、企業の変革を推進するソフトウェアを作成し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスを獲得できるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。詳細については ca.com/jp をご覧ください。

Copyright © 2017 CA, Inc. All rights reserved. 本書に記載のすべての商標は、該当する各社に帰属します。この文書は保証を含むものではなく、情報の提供のみを目的としています。機能に関する記述は、本書に記載された顧客に固有のものである可能性があり、実際の製品性能は異なる場合があります。

CS200-263461_0317

